

池田精堂
IKEDA Seido

上原浩子
UEHARA Hiroko

川田知志
KAWATA Satoshi

日名舞子
HINA Maiko

南大樹
MINAMI Daiki

ウィル・ホール
Will HALL

マイケル・ホイットル
Michael WHITTLE

colors of KCUA 2012



芸術学研究室による総合選抜展

2012.8.11 SAT - 19 SUN

11:00~19:00 (入館18:45まで 月曜・休館) 入場無料

会場:京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA

主催:京都市立芸術大学芸術学研究室、京都市立芸術大学

企画:京都市立芸術大学芸術学研究室 修士? 入澤聖明/李趙雪

@KCUA

KYOTO CITY UNIVERSITY OF ARTS ART GALLERY
京都市立芸術大学ギャラリー・アーク [堀川御池ギャラリー内]



Colors of KCUA 2012

芸術学研究室による総合選抜展

2012.8.11 SAT - 19 SUN

11:00~19:00 (入館18:45まで 月曜・休館) 入場無料

会場:京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA

主催:京都市立芸術大学芸術学研究室、京都市立芸術大学

- 1.南大樹 MINAMI Daiki《第5実験-The Cycle Experiment #5》2011
- 2.日名舞子 HINA Maiko《立ちションアクティビズム I》2011
- 3.上原浩子 UEHARA Hiroko《No Title》2011
- 4.マイケル・ホイットル Michael WHITTLE《memorial》2012
- 5.ウィル・ホール Will HALL《Diplopiascope》2011
- 6.池田精堂 IKEDA Seido《Vague Sympathy》2011
- 7.川田知志 KAWATA Satoshi《Grange》2010

Colors of KCUA 2012 通感

本展は、京都市立芸術大学芸術学研究室(総合芸術学科および芸術学専攻)の学生が中心となり、本学の制作活動や動向を学外に発信する展覧会です。研究活動と並行して日々制作現場と接している芸術学研究室所属学生ならではの視点のもと、ジャンル横断的に京芸の「今」をリアルタイムに伝えます。

今年のテーマは「通感」です。「通感」とは、「目で見て音を感じる」や「音を聞いて温度を感じる」など、ある感覚器官で受け取ったものが他の感覚器官を呼び起こす、いわゆる共感覚を指す、中国文学における修辞法の用語です。本展では、その言葉がもつ感覚間の伝達や共有といった概念に注目し、そこからある作品を見て同時に機能し互いに響きあった五感は他人と共有することができるのか、という問いについて考えます。

「通感」という言葉に込められた、個人を超えて人々が感覚を共有するという新たなコミュニケーションについて考えながら、現代美術の新たな可能性について考えてゆきたいと思います。

■イベント予定

8月11日(土)16:00- アーティストトーク/オープニングレセプション

8月19日(日)13:00- トークイベント

詳細は展覧会HP(ギャラリー@KCUA ホームページ内)にて



@KCUA

KYOTO CITY UNIVERSITY OF ARTS ART GALLERY
京都市立芸術大学 ギャラリー・アクア [堀川御池ギャラリー内]



地下鉄「二条城前」駅(2番出口)徒歩約3分
市バス「堀川御池」バス停下車すぐ

京都市中京区油小路通御池押油小路町 238-1
〒604-0052 <http://www.kcua.ac.jp/gallery/>

お問い合わせ・京都市立芸術大学企画広報課
tel.075-334-2204